

Title	演劇学論叢 第6号 表紙
Author(s)	
Citation	演劇学論叢. 2003, 6
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/97530
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

2003.12

第6号

演劇学論叢

■論文

- 《老松》の主題と成立の背景……………天野 文雄 (1)
—応永二十七年秋冬の義持の大患をめぐって—
- 『花伝』物学条々の「舞がかり」……………尾本 頼彦 (28)
—増補との関連とそれが意味するもの—
- 『花咲傳』を読む……………川上 孝也 (52)
—近世狂言への視座—
- 二人のスベンサー……………神山 彰 (78)
—科学と演劇の間—
- 無言劇『ズムルン』の劇構造……………大林のり子 (97)
—欧米を旅するラインハルト演出—

■共同研究：観世元章の能楽改革 (2)

- 観世大夫元章と《関寺小町》……………橋場 夕佳 (119)
—元章手沢本『習十番』の書入をめぐって—
- 小書「乏佐走」考……………長田あかね (128)
—《誓願寺》《当麻》の後シテの装束をめぐって—
- 明和改正謡本と現代の能 (一)……………天野 文雄 (140)
—濁音から清濁への改訂をめぐって—

■共同研究：寺山修司と演劇実験室天井敷数研究

- 孤独の百年……………永田 靖 (148)
—イントロダクションにかえて—
- シナリオライターとしての寺山修司……………横田 洋 (154)
—『乾いた湖』の分析を中心に—
- 寺山修司における「童話」の意義……………田中みどり (166)
—『はだかの王様』を中心に—
- 『毛皮のマリー』の現実と非現実……………柘井 智英 (179)
- 二元論への挑戦……………木下 耕介 (186)
—市街劇『人力飛行機ソロモン』を中心に—
- 出会いの偶然性を想像力によって
組織すること……………正木 喜勝 (204)
—寺山修司の演劇論を読む—
- 寺山演劇の集大成『レミング』……………藤元 陽 (217)
—改訂の意図から見る—
- Shintoku-maru……………Kikuchi Azusa (240)
—from the Tenjō-sajiki to Ninagawa Yukio—

- 研究室の窓……………(241)

演劇学論叢

大阪大学大学院文学研究科演劇学研究室